

白杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 担当課	課名 防災危機管理課
-----------	---------------

コード	Ⅲ-7-12	施策名	自主的な防災活動及び防災教育の推進
まちづくりの 目標	自助・共助の精神を持った市民が暮らす、災害に強いまち(防災)	施策の方針	災害に強い組織・人をつくる
5年後の めざす姿	市民一人ひとりが、地震・津波・豪雨災害などさまざまな災害に対して防災意識を身につけられる取り組みを推進します。すべての住民が「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、主体的に判断・行動し、実践できる体制づくりをめざします。		
施策の課題	この数年、コロナ禍により地区の防災訓練を始めとした防災活動が低迷していましたが、今年度から活発になってきております。地域への訓練ノウハウの伝授などへの支援と、防災教育・学習の充実・強化を図り、災害に強いまちづくりに取り組みます。自宅において地震が発生した場合、家具の転倒防止など自らの命を守る取り組みを強化します。		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	家具の転倒防止対策をしている家庭の割合	白杵市よりよいまちづくりアンケートで「あなたは家具の転倒防止対策をしていますか」の質問に「はい」と回答した市民の割合(「はい」の回答数/全回答者数)	目標	%	/	34.0	38.0	42.0	46.0	50.0
			実績	%	29.8	33.0	38.0	36.8	38.0	
			達成率	%	/	97.1%	100.0%	87.6%	82.6%	
	防災スタンプラリー開催小学校数	多種多様な災害を学習する防災スタンプラリーの開催校	目標	校	/	13	13	13	13	13
			実績	校	-	-	-	2	3	
			達成率	%	/	-	-	15.4%	23.1%	
	小中学校における防災訓練の実施校数	年3回以上防災訓練を実施した小中学校数	目標	校	/	18	18	18	18	18
			実績	校	18	18	18	18	18	
			達成率	%	/	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	自主防災組織等の自主的な活動件数	自主防災組織等の自主的な訓練及び研修補助金申請件数	目標	件	/	85	100	115	130	145
			実績	件	68	48	49	60	102	
			達成率	%	/	56.5%	49.0%	52.2%	78.5%	
○	幼児保育施設における防災訓練の実施数	年1回以上防災訓練を実施した保育施設数	目標	件	/	-	-	11	11	11
			実績	件	-	-	-	11	11	
			達成率	%	/	-	-	100.0%	100.0%	
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練については、定着している地区もあり、「自分の命は自分で守る」という意識が深化しているものと思われます。 ・小中学校および保育園・子ども園において防災訓練への取組みが活発化しています。 ・防災スタンプラリーは全小学校開催を目指して活動しているものの、小学校側のイベント実施時期や内容についての決定時期までに学校へのPRが足りず、先生方への意識付けができなかったと思われます。 							
		指標達成に向け今後の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍があげ、防災士等の活動に期待をしており、市としての訓練補助など支援をしていきます。 ・市内小学校に、防災関連の学習実施について依頼していきます。 ・市内の大規模小売店舗などに防災フェア実施の依頼等を行い、防災グッズ等の販売について依頼していきます。市民の方に災害対応への心がけを呼びかけ(市報、ケーブルテレビ等)、転倒防止対策等への関心を高めていきます。 							

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	満足度
向上領域	2.65	2.12	2.30
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域		浸透度	
		88.99%	
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	向上領域	向上領域	向上領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1	家具転倒防止対策推進	防災危機管理課	—	—	無	—	—	—	
2	小中学校における防災教育及び訓練	防災危機管理課	—	—	無	—	—	—	
3	ジュニア防災リーダーの育成	防災危機管理課	—	—	無	—	—	—	
4	防災訓練の強化・充実	防災危機管理課	1,376	1,672	無	—	—	—	○
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計			1,376	1,672					

※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。

<次年度以降の課題>

防災訓練については、小中学校をはじめ地域にも浸透してきていますが、家具転倒防止に対する啓発が足りていないと思われるので、地区の訓練時や市報などでの周知啓発を強化していきます。
また、防災訓練には地域格差がありますので、市内全域で取り組んでいただけるように働きかけが必要です。

施策の評価（今後の施策の方向性）

評価の選択肢 ○ 向上 … 現状の通り維持向上する ○ 強化… 現状より強化を図る
○ 見直し … 現状を見直し適正化を図る ○ 検討… 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>…評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	令和5年度はコロナ禍があげ、各種訓練、研修が徐々に増加している状況にあります。 地区住民の高齢化等により、活動が年々厳しくなっている地区もあると思われませんが、家具などの転倒防止対策や命を守るために「まず逃げる」という考えのもと住民主体での声掛け訓練や避難訓練等による、「自助」「共助」のさらなる深化、醸成が重要と考えます。 また、地域内での要配慮者避難行動計画の作成についても、福祉課と協力して推進していく必要があります。